

2007年に発見された磐梯山の1888年噴火の写真について

In 2007 discovered photos of the 1888 eruption, Bandai volcano

佐藤 公 [1]; 中村 洋一 [2]

Hiroshi Sato[1]; Yoichi Nakamura[2]

[1] 磐梯山噴火記念館; [2] 宇都宮大・教育

[1] Bandaisan Volcano Museum; [2] Earth Sciences, Utsunomiya Univ.

磐梯山の1888年噴火の写真については、内閣府中央防災会議の災害教訓の継承に関する専門調査会「1888年磐梯山噴火分科会」報告書によると、現在、100点ほど確認されている。

これまで確認されている写真は、噴火当時、喜多方在住であった岩田善平の14点と仙台在住であった遠藤陸郎の25点が大半を占めていた。その後、2003年に国立科学博物館で新たに24点が発見され、同年末に宮内庁で21点が発見され、合計すると100点ほどになる。

今回、佐藤が宮内庁書陵部で調査したところ、これまで発表されていない写真が8点発見された。

1. 秋元方面からの磐梯山 (撮影者: W・K・バルトン) [20.7 × 26.5cm]
2. 長坂方面から対岸の山 (撮影者: W・K・バルトン) [20.7 × 26.5cm](関谷清景スケッチ)
3. 磐梯山ヨリ大塩村遠望 (撮影者: 遠藤陸郎 NO5) [20.9 × 26.8cm]
4. 伯父ヶ倉暴風ノ為家屋破壊ノ図 (撮影者: 遠藤陸郎 NO8) [20.9 × 26.8cm]
5. 白木城潰家ノ惨状 (撮影者: 遠藤陸郎 NO9) [20.9 × 26.8cm]
6. 西方ヨリ渋谷破潰惨状 (撮影者: 遠藤陸郎 NO12) [20.9 × 26.8cm]
7. 長瀬川岩石泥土押出して (撮影者: 遠藤陸郎 NO21) [20.9 × 26.8cm]
8. 大塩村長峰ヨリ細野埋没 (撮影者: 遠藤陸郎 NO25) [20.9 × 26.8cm]

1の写真は、国立科学博物館で発見されたバルトンの写真の近距離で撮影されている

手前にある隆起した小山が3つあるが、1つが他と異なる点について注目している

2の写真は、当時調査した東京理科大学教授関谷清景の論文のスケッチのもととなるもの

対岸の山の縁の白い部分は、土石流が発生した際の最高点であろう。そこから、土石流の大きさについて調査したい
3~8の遠藤陸郎の写真は、25点を所蔵している福島県立図書館のリストの欠番のもの

今後、研究者と協力しながら、これらの写真を分析し、1888年の磐梯山噴火の火山現象について、新たな発見を見つきたいと考えています。その成果については、今年の7月から開催される共同企画展「会津磐梯山」の当館展示「写真から見る磐梯山の噴火」でも発表したいと考えている。最後に、この度の発見は宮内庁書陵部の理解と協力により実現したもので、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。